

謝辞

§ 3においては、橋梁製作施工会社 10 社に溶接部の割れに関するアンケート調査を実施し、貴重なデータを頂き、現在でも僅かではあるが溶接割れ（低温割れ）が発生していることを確認することができました。

また、§ 4における試験体の供試鋼材は、横浜市 道路局橋梁課様(試験ケースの英字記号 E のもの)、国土交通省関東地方整備局 東京国道事務所様(試験ケースの英字記号 S のもの)、ならびに公益財団法人鉄道総合技術研究所様(試験ケースの英字記号 T のもの)より貴重な古材を提供していただき、古材を使用した実験・検証を行うことができました。

アンケート及び古材の提供により、貴重な事例及びデータの蓄積ができ、本WGの報告書の内容を深めることができました。ここに記して深く感謝の意を表します。